

特定非営利活動法人日本乗馬普及協会

SDGsの取組

取組・活動内容	引退競走馬の居場所はまだまだ不足しています。日本乗馬普及協会（Japan Horse riding Association）は乗馬の更なる普及こそが競走馬として活躍できなかった名もなき引退競走馬たちの需要と活躍の場になると考え、馬と人が共に豊かに暮らせる持続可能な社会を目指します。更には乗馬普及により乗馬・競馬業界の深刻な担い手不足という社会課題の解決を目指しています。			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 12		国内においてサラブレッドの生産は年間約7,000頭ですが、5歳前後で競馬を引退する馬が殆どです。馬の寿命は25歳から30歳ほどのため引退競走馬のセカンドキャリアを支援します。	当法人では現在2頭の引退競走馬のセカンドキャリアを支援していますが、2025年までに5頭の引退競走馬支援を目指します。
	社会 3, 11		所有し、セカンドキャリアを支援している引退競走馬を活用し、青少年教育活動、ホースセラピー（障がい者乗馬等）の研究活動を行います。	年4回以上ホースセラピー（障がい者乗馬等）の研究会に参加します。
環境 17		業務上利用する照明をLEDに代え、CO2排出削減に取り組みます。	2030年度までに業務上利用する照明の90%以上をLED照明にします。	